

マクロの記録準備

1: 「開発」タブの表示

マクロの記録や呼び出しを行うボタン

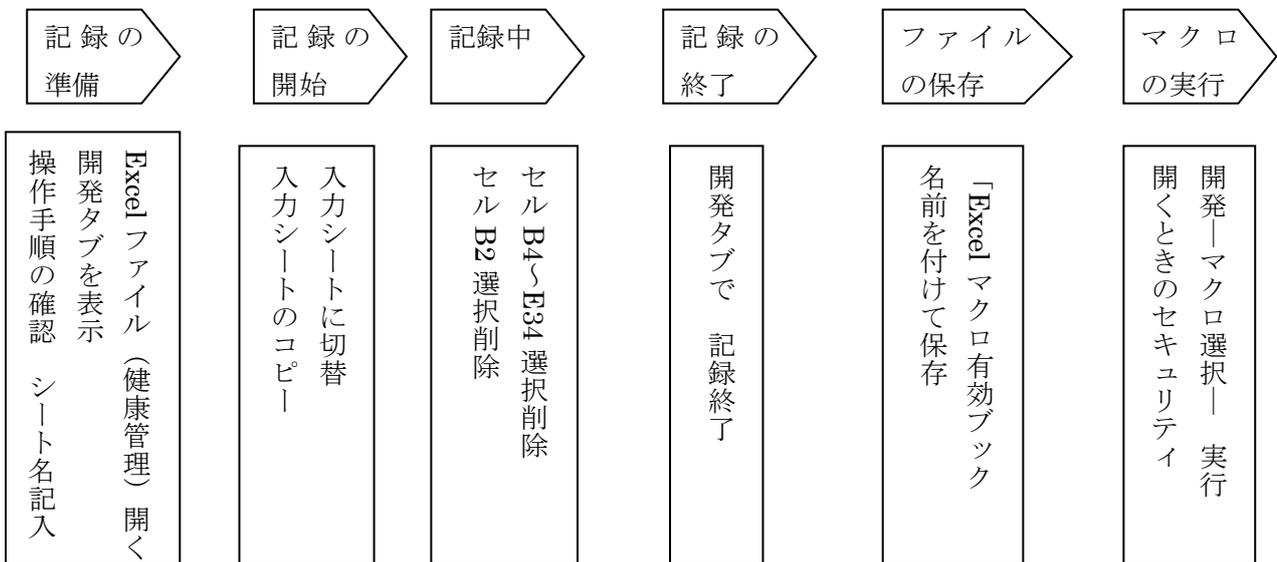
Excel2007 の場合

「Office」ボタン → Excel オプション → 基本設定 → 開発タブをリボンに表示 → 「OK」

Excel2013/2010 の場合

「ファイル」 → オプション → リボンのユーザー設定 → メインタブ 開発 → Ok

2: 手順の確認



3: 記録操作の手順

マクロの記録は、「マクロの記録」画面を利用

「開発」 → 「マクロの記録」・・・「マクロの記録」画面が表示

マクロ名(健康管理)を入力 → マクロの保存先 → V で選択 (作業中のブック)

説明欄に 「血压表をコピーして入力用のデータを消去する」 → 「OK」

※ これ以降行う操作は、すべてマクロに記録される

1: 入力シートをコピー

ホーム → 書式 → シートの移動またはコピー → 挿入先「末尾へ移動」 →

コピー作成する → {OK}

(シート名選択 → Ctrl 押しドラック → ▼になったら離す)

2 : 入力欄を消去

コピー元選択 → 入力欄データ選択

: セル B4~E34 を選択 → 選択中の → データを消去

: セル B2 (年表示) 選択 → B2 データ消去

3 : 「マクロの記録」終了

「開発」 →

4 : マクロの保存

ファイル → 「名前を付けて保存」 → コンピューター → 参照

名前を付けて保存選択 → ファイルの種類選択 → 「Excel マクロ有効ブック」選択

→ 「保存場所」選択 → ファイル名入力 →

保存形式 → を確認

5 : ファイルを開くとき

の時 クリック

6 : マクロの実行

: マクロ画面から

開発 → マクロ → 実行するマクロ → 選択 → 実行

空の入力欄 シート が 追加される

ボタンを作成

開発 → 挿入 → → クリック

ポインターが 「+」 になったら → 描く

: ボタンから実行

ボタンをクリック → マクロ実行 マクロ実行ボタン削除したらシート名も変更

7 : 作成マクロの削除

: 不要なマクロは、ファイルから削除します

開発 → マクロ → 記録マクロ選択 → 削除 →

8 : 記録したマクロは、元に戻せない 戻りたいときは保存しないでファイルを閉じる

